

おもしろたのし みえこども園



『牛と遊んだよ』 5歳児



考える力を育む保育



園の概要

◎ 経営理念

社会福祉法人みえ福祉会は、未来社会を担う子ども達が思いやりの心と、大きく伸びやかで健やかな自主的精神にみちた心身共に健康な発達を遂げるための援助を目的に、奉仕の精神を基盤とした貢献を行い、健全な保育の業務遂行を図るものとする。

◎ 保育の理念

子どもの人材や主体性を尊重し、児童の最善の幸福のために、保護者や地域社会と力を合わせ、豊かな感性と深い愛情で以て、教育基本法、児童福祉法及び認定こども園法、並びに「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」に基づき質の高い保育・教育を行う。併せて、地域の子ども・子育て支援の充実を図る。尚、職員は、児童の処遇向上のため、知識の習得と技術の向上に最善の努力を行う。

◎ 保育目標

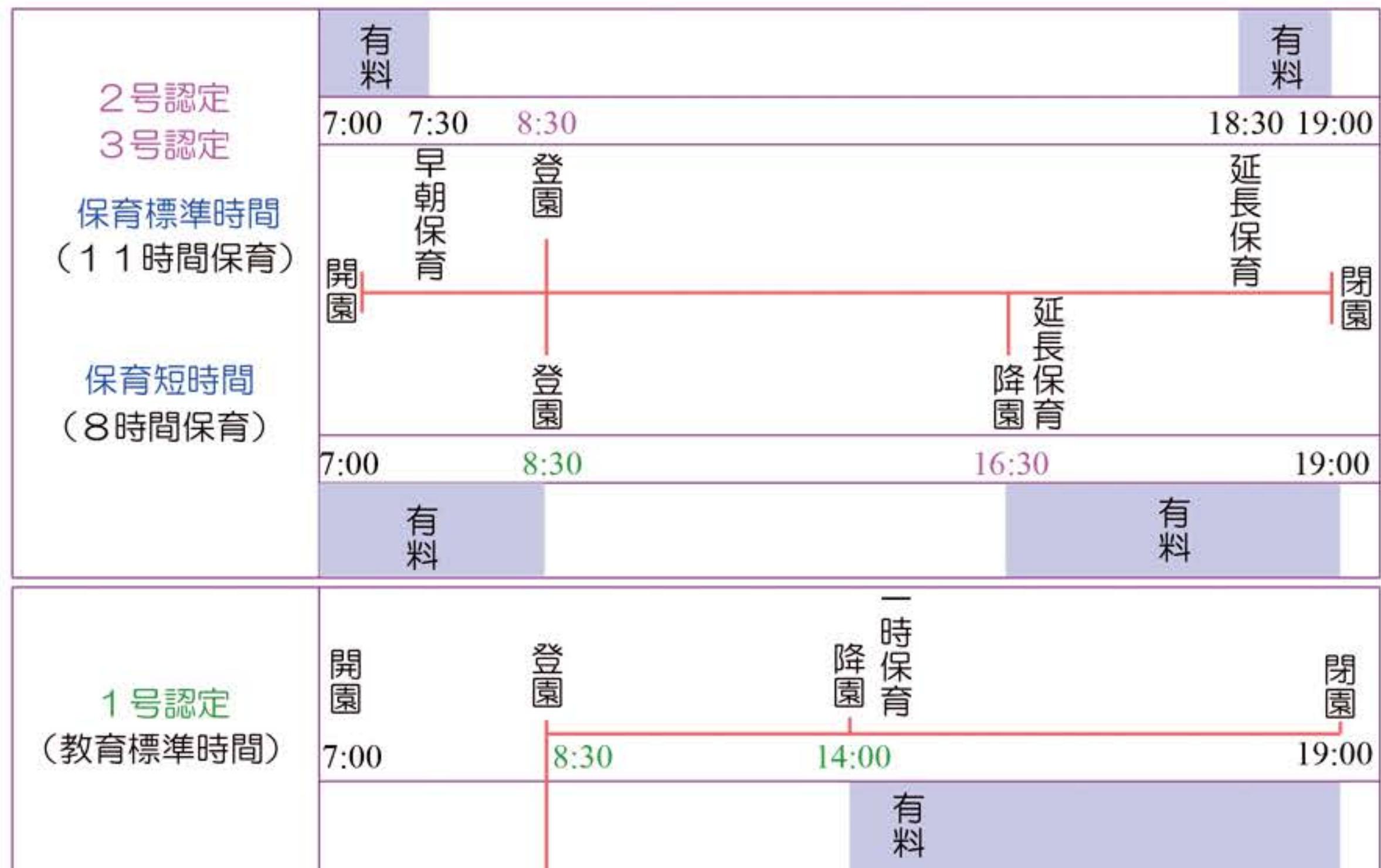
- ・いろいろなことに興味をもって、意欲的に立ち向かっていく子ども
- ・心も体ものびのびと元気で遊べる子ども
- ・思いやりのある子ども

◎ 保育方針

- ・地域との交流を図り、地域に根ざした認定こども園。
- ・園生活と家庭生活が円滑に流れるように、保護者との交流を深める。
- ・情緒の安定を図りながら、子どもの自発性を尊重する。
- ・自然の中で心や身体を鍛錬していく。



◎保育時間



◎保育料

※平成31年10月から無償化になります。内容については検討中です。

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------|---|------|-----------|----|------|------|-------------|----|------|------|-----------|----|------|------|-------------|----|------|--|-------------|----|------|--|-------------|----|
| 2号認定・3号認定 | 豊岡市が設定する保育料です。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・給食費を含みますが、5歳児（就学前児）は米代500円を徴収します。 ・個人の持ち物は一部実費徴収します。 ・他 ①保育標準時間（保育時間 11時間） <table> <tr> <td>早朝保育</td> <td>7:00～7:30</td> <td>1回</td> <td>150円</td> </tr> <tr> <td>延長保育</td> <td>18:30～19:00</td> <td>1回</td> <td>150円</td> </tr> </table> ②保育短時間（保育時間 8時間） <table> <tr> <td>早朝保育</td> <td>7:00～8:30</td> <td>1回</td> <td>150円</td> </tr> <tr> <td>延長保育</td> <td>16:30～17:00</td> <td>1回</td> <td>150円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>17:00～18:00</td> <td>1回</td> <td>250円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>18:00～19:00</td> <td>1回</td> <td>300円</td> </tr> </table> | 早朝保育 | 7:00～7:30 | 1回 | 150円 | 延長保育 | 18:30～19:00 | 1回 | 150円 | 早朝保育 | 7:00～8:30 | 1回 | 150円 | 延長保育 | 16:30～17:00 | 1回 | 150円 | | 17:00～18:00 | 1回 | 250円 | | 18:00～19:00 | 1回 |
| 早朝保育 | 7:00～7:30 | 1回 | 150円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 延長保育 | 18:30～19:00 | 1回 | 150円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 早朝保育 | 7:00～8:30 | 1回 | 150円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 延長保育 | 16:30～17:00 | 1回 | 150円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 17:00～18:00 | 1回 | 250円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 18:00～19:00 | 1回 | 300円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1号認定 | <p>市立幼稚園保育料と同額です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本園では校区外も同額です。 別途、給食費を徴収します。 4歳児・3歳児…月額3,400円（給食費副食分） 5歳児…月額3,400円（給食費副食分）+500円（米代） ・個人の持ち物は一部実費徴収します。 ・他 14:00以降は一時保育となります。 <p>¥1,500（半日の保育料）+¥300（16:30～18:00）+¥500（18:00～19:00）</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

◎休業日

2号認定・3号認定…日・祝日・年末・年始等（土曜日の保育は申請書が必要です）

1号認定…土曜日は休みです。

春休み、夏休み、冬休みがあります。

※保育日数は現在の幼稚園と同じですが、行事等により本園独自の休日期間となります。



■ 年間行事予定

| | |
|-----|---|
| 4月 | 入園式・家庭訪問・保護者会総会と保育参観 |
| 5月 | 内科健診・親子バス遠足・社会見学（就学前5歳児） |
| 6月 | 歯科健診・親子人形劇鑑賞会 |
| 7月 | 個別懇談・七夕会・お楽しみ会（就学前5歳児）・プール開き |
| 8月 | クッキング（収穫祭） |
| 9月 | プール納め・ふれあい運動会（三江小学校） |
| 10月 | 自由参観・父親参観・遠足・内科健診 |
| 11月 | もちつき大会（民族歌舞団花こまさんによる獅子舞や餅つきばやし） 市展見学・商店街見学（就学前5歳児）・焼き芋会 就学前クラス懇談会（就学前5歳児） |
| 12月 | 個別懇談・クリスマス会 |
| 1月 | |
| 2月 | 豆まき・親と子のつどい（発表会） |
| 3月 | ふれあいの日（ミニ発表会）・遠足 お別れ会・保育納め・卒園式（就学前5歳児） |

- 避難訓練…毎月
- 誕生会…毎月
- 身体測定…3. 4. 5歳児は2ヶ月に1度、0. 1. 2歳児は毎月
- 手作り弁当…年2回
- 毎月10日はノーテレビデー
- びょんちゃんクラブ（交通安全指導）…2回

■ 畑の計画



| | |
|------|----------------------|
| 4月 | うね作り |
| 5月 | 秋野菜や夏野菜の苗植え・葉物野菜の種植え |
| 6月 | 葉物野菜の収穫 |
| 7・8月 | 夏野菜の収穫 |
| 10月 | 秋野菜の収穫 |

※クラスの活動内容によって冬野菜を育てることもあります。

■ その他

- 豊岡交通安全協会婦人部の方とお巡りさんによる交通安全指導を受ける
- 保健センターによる歯科指導を受ける
- 豊岡柳祭りの稚児行列に参加
- 三江小学校との交流会
 - 三江小学校一年生との交流会
 - 三江小学校親子給食試食会
- 地域との交流→三江地区の運動会や文化祭に参加する
- デイサービス「ゆめゆめらいふ」との交流会
 - クリスマス会の招待を受ける
 - もちつき大会やふれあい交流会に招待する
- 三江コミュニティお話ランドのボランティアさんによる絵本の読み聞かせ



根っこに
水をやると
大きくなるよ。



本園の特徴

◎ 保育内容

- ・ クラス全員が同じ場所で同じ遊びをし、全員揃ってトイレへ行ったり食事をするという時間割のような一日を過ごすのではなく、縁側、園庭、裏の坂道、畠と様々な場所で様々な遊びを展開する中で、より面白くより楽しくなるように遊びを工夫し、そこから起こる新たな課題に取り組み解決しながら遊びをどんどん広げて「自ら考え行動する力を育む保育」をしています。又、自分の事は自分でしようとする意欲的な態度が身につくような環境づくりをし、一人ひとりに応じた関わりを大切にしています。
- ・ 2. 3. 4. 5歳児は、1クラスですが、クラスの人数により2グループに分けることがあります。その場合、保育教諭はグループ担当制です。
2. 3歳児は副担任の配置、4. 5歳児は15名（子ども）対1（保育教諭）の合同班別保育することで子どもが主体となって活動している過程にしっかり目を向け、援助できるようにしています。
(4. 5歳児の合同班別保育につきましては入園説明会で詳細をお伝えします。)
- ・ 0. 1歳児は、一人ひとりの育ちを大切にし、遊んだり生活したりできるよう少人数担当制でいます。年齢的にできなくて当たり前ですが、やってみたいという気持ちを伸ばすような関わりを心がけています。

◎ 子育て相談

- ・ 育児相談・発達相談 … 園長・主幹保育教諭
- ・ 健康相談 … 看護師
- ・ 離乳食、アレルギー食等相談… 管理栄養士・栄養士
0歳児担任



大切にしてあげたい
味覚、楽しい食事

台所の紹介

子ども達の「いただきます」「ごちそうさま」「おいしかったよ」といった声や笑顔が私達、台所の職員のやり甲斐です。

園で提供する昼食やおやつは栄養士が作成した献立に基づいた手作りです。
旬のものを取り入れ素材の味を生かした薄味を心がけています。

七夕やクリスマス、ひな祭りなどの行事食、
離乳食やアレルギー除去食も提供しています。

そして、食べたいものや好きな物が増えるように
季節によって様々な内容の食育活動に力を入れており
食べ物に触れる機会を増やしています。



自然の中で思いっきり楽しむことで3つの力が育ちます



1. 発想力・イメージ力が育つ力
2. やり遂げる喜びを知り学ぶ意欲に繋がる力
3. 創造力・問題解決力が育ち仲間と楽しむ社会性が身につく力



小学校に向けて
「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」
に繋がります



4歳児・5歳児

★ 4歳児・めろんばなな組
5歳児・みかん組



(1号・2号認定児)

| | | |
|-------|--|---|
| 7:00 | 早朝保育① | 開園 |
| 7:30 | 2号認定児（保育標準時間）順次登園 | |
| 8:10 | 早朝保育② | 園庭で遊ぶ |
| 8:30 | 1号認定児（教育標準時間）登園 2号認定児（保育短時間）登園 | 園庭や縁側で遊ぶ |
| 9:30 | 園外に出かけたり春～秋にかけて畑の活動をしたりする。 年齢別・グループ別・班別で振り返りの会で話し合いながらいろいろな遊びを展開していく。 | |
| 11:45 | 着替え始める | |
| 11:50 | 着替えた子から食事をする 食事を終えた子は室内で過ごす 1号認定児・2号認定児 | |
| | 一斉活動 歌を歌う 絵を描く 絵本を見る 振り返りの会 | 夏期 ・降園準備（13:25～13:30） ・昼寝 1号認定児（13:30～14:00） 2号認定児（13:30～14:30） |
| | 2号認定児 園庭・縁側で遊ぶ | |
| 13:25 | 1号認定児（教育標準時間児）降園準備 準備ができた子から園庭・縁側で遊ぶ | |
| 14:00 | 1号認定児（教育標準時間）降園 | 夏期 起床・おやつ（14:30～15:30） 食べた子から園庭で遊ぶ |
| 15:15 | 2号認定児　着替え・降園準備 | |
| 15:45 | おやつを食べる 縁側・園庭で食べたり 畠・裏山・文常寺等出かけて 食べたりする | |
| 16:00 | 園庭や縁側で遊ぶ | |
| 16:30 | 2号認定児（保育短時間）降園 (保育標準時間)順次降園 | |
| | 延長保育② | 園庭で遊ぶ 秋・冬 17:00まで 春・夏 18:00まで |
| 18:30 | 延長保育① | |
| 19:00 | 閉園 | 部屋で遊ぶ |

◎早朝保育①・延長保育①・・・保育標準時間児（保育時間11時間）

早朝保育②・延長保育②・・・保育短時間児（保育時間8時間）

就学前の2年間は、小学校に繋がる「生きる基礎」を育成することを意識し、「幼児期の終わりまでに育って欲しい10の姿」が見えてくるようになる方向性を大切にした保育をしています。

『幼児期の終わりまでに育って欲しい10の姿』

- ①自分のやりたいことに向かって心と体を十分に動かし、見通しをもって行動する。
- ②身近な環境に自ら進んで関わり、諦めずにやり遂げ、達成感を味わったり、自信を持って行動したりする。
- ③友達と関わる中で、互いの思いや考えを伝え合い、協力して、やり遂げる。
- ④友達と様々な体験を重ねる中で、自分の行動を振り返ったり、友達の気持ちに共感し、相手の立場になって行動したりする。
- ⑤地域の身近な人と触れあう中で、相手の気持ちを考えて関わり、自分が役に立つ喜びを感じる。
- ⑥身近な事象に積極的に関わり、物の性質や仕組みなどに気付き、様々な関わりを楽しむ。
また、友達の考え方方に触れ、自分と異なる考え方があることに気付き、新しい考えを生み出す喜びを味わう。
- ⑦自然に触れて感動する体験を通して、好奇心や探究心をもち、身近な事象への関心を高める。
また、身近な動植物に心動かされる体験を通して、生命の不思議さや尊さに気付き、思いやりやいたわりの気持ちをもつ。
- ⑧数量や図形、標識や文字などに親しんだり、役割に気付いたりし、興味や関心をもつ。
- ⑨保育教諭や友達と心通わせる中で、絵本や物語などに親しみながら、豊かな言葉や表現を身につけ、言葉で伝えたり、相手の話を聞いたりして、言葉の伝え合いを楽しむ。
- ⑩心を動かす出来事などに触れ、感性を働かせ、様々な素材の特徴や表現の仕方などに気付き、表現する喜びを味わい、意欲をもつ。

保育教諭は、子ども達一人一人の姿を把握し、今取り組んでいることを思う存分楽しめるように、そして、新たな活動や遊びが生み出せるように、時には子ども達と環境を創り、時には保育教諭が仕掛け、認め、励まし、見守っています。また、学びの場である「振り返りの会」を通して、子どもが主体となる保育を展開できるよう努めています。

5歳児 みかん組（就学前児）



4歳児 めろんばなな組



「コマ大会をしよう！」

コマ大会だ！
せーの！

めろんばなな組の時から正月遊びでコマ回しを楽しみ、全員が笛の合図でコマを回すという1回勝負のコマ大会をしていました。それは、『長く回せた人が勝ち』ではなく、『コマが回せたらシールがもらえる』というもの。なかなか全員が回すということは難しかったのですが、回せるようになった子が回せない子に要領を教えたり、応援したりしているうちに、全員が回せるようになり、クラス皆で飛び上がるほど喜び合ったという体験があり、みかん組へと進級しても部屋や縁側で友達と「せーの！」と合図をしながら一緒に回すことを楽しんでいました。



うまく巻けないよ

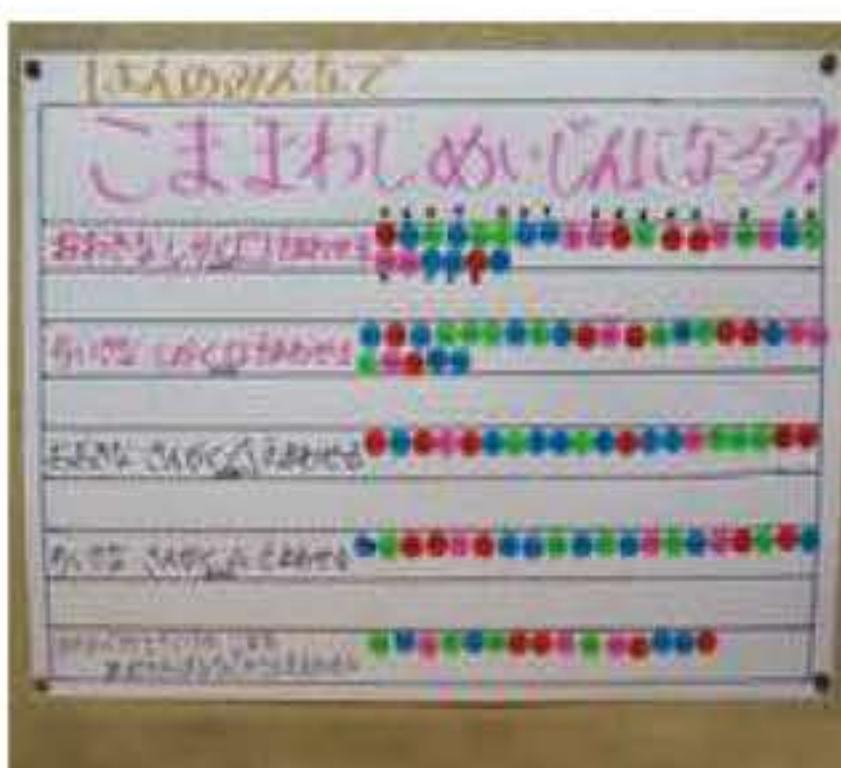


そして「よーし、コマ大会をしよう！」と声が上がり、早速進級して初めてのコマ大会をしました。もちろん、昨年度と同じルールです。ところが、進級した子は全員回せるとはいっても、回る確率は低く、いざ大会となるとうまくいかない子がいました。さらに入園した子はコマに触れること自体が初めてで紐を巻くところから始めなければなりません。それでも、諦めるのではなく次の大会を目指し、練習を始めたのです。もちろん、めろんばなな組の時と同じく、回せる子は回せない子に教えたり応援をしたりしていました。



そんな頑張る子ども達の姿を見て保育教諭も一緒にしようと自分のコマを持ってきました。それは、子ども達のコマの2倍以上もあります。子ども達はビックリ！保育教諭が回してみると、挑戦心が刺激され「自分達も回せるようになりたい」と言ってさらに練習に力が入り出しました。

班活動が始まった5月後半、一人ではなく、班のみんなでコマ名人を目指すことにしました。



どんどん回せるようになってくると単に床で回すだけでは物足りずシートに四角形、三角形の枠を作り枠内に狙いを定めて回すという方法でも遊び始めました。

めろんばなな組の子ども達はぶどう組の時、お正月遊びのひとつとして手ごまで遊んでいたという話を聞き、みかん組の子ども達は早速手ごまと作ってあげることにしました。

牛乳パックと
ストローで
作ろう！！



作ったコマは
ちゃんと回るかな～？

回数を重ねるごとにコマ大会も、より 面白さを求め、変化していきました。



牛乳パックとストローで作った手ごまを渡し、回せるとシールがもらえることを伝えました。すると、めろんばなな組の子ども達は、すぐに回す練習を始めました。回せると約束どおりシールを貼ってあげました。



お楽しみ会

お楽しみ会が終わっても
コマ大会を楽しんでいます。

コマ大会
しよう♪

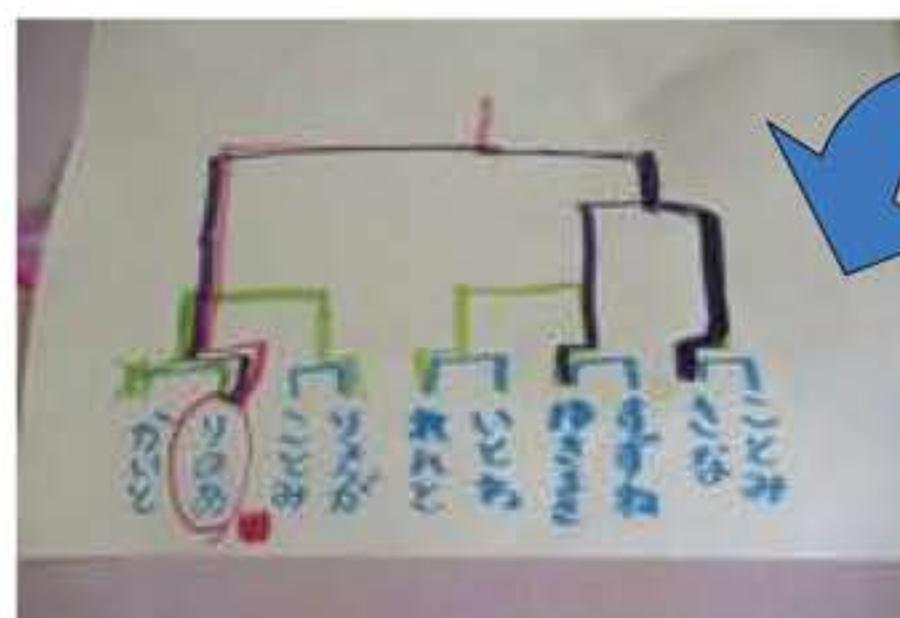
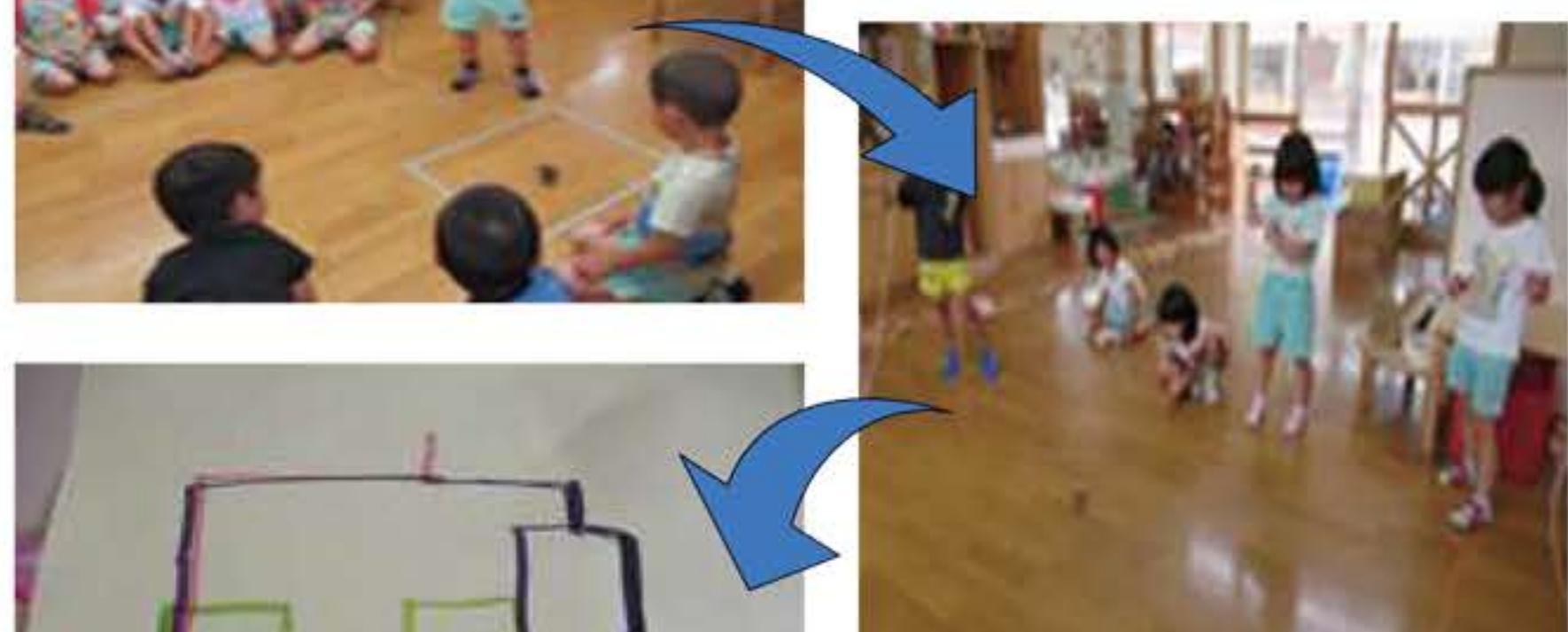


[段ボール乗せ]

①『枠の中で回せるかどうか』



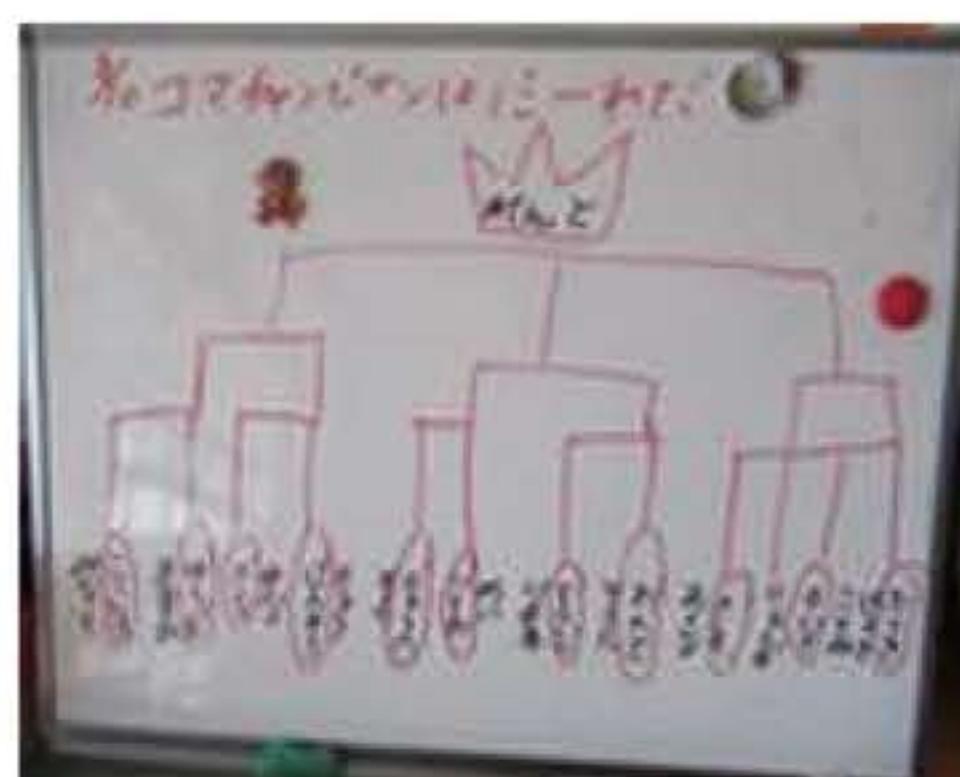
②『長い間回せるかどうか』



③『トーナメントで
チャンピオンを決めよう！』

クラスの皆が回せるようになり、
お楽しみ会では
保護者の人と一緒にコマ大会を
してチャンピオンを決めました。

楽しかった、悔しかったなど
コマ大会についてのそれぞれの
思いを絵で表現しました。



僕のコマは
よく回るよ

ただ今新しい技に挑戦！！



[つなわたり]



[あさがお]



『さつまいもを育てよう！』

入園進級当初から、畑でどんな野菜を育てたいのかを子ども達と話し合ってきました。かぼちゃ・とうもろこし・スイカ・めろん・なす・トマト・オクラ・きゅうり・キャベツ・じゃがいも・たまねぎ等10種類以上、声が上がりいました。



店には、たくさんの種類の苗があって、同じ野菜でも、品種が違うものもあり、その特徴を保育教諭と一緒に読みながら、どれにするのか考え、選び購入しました。そして早速畑に植えましたが、まだ、畝が空いています。「まだ何か植えられるね。」「何にしよう。」と相談が始まり、昨年の芋掘り体験を思い出し「さつまいもを植えたい！」とのこと。その声に皆が賛成し、ある子が「何本くらい植えられるかな」と実際に畑に行き、「ここも植えられる」と言って、数を考えました。その翌日、再び店に行きました。昨日、苗の数を数えていた子は、欠席だったので、そこで再び、何本植えるのか相談が始まりました。



そんな中、ある子が「みかん組は全員で37人だから37本植えよう。どうかな」と提案しました。その案にどの子も「そうしよう。」と頷き、37本の購入が決定しました。次は、鳴門金時・紅あずま・紅はるか・安納芋の4種類の中から何を購入するのかということに悩み始めました。保育教諭が札に書かれている特徴を読み上げ、それぞれ1本づつ好きな苗を購入することに意見がまとまりました。



早速、畑に植え、その日から世話が始まりました。



水やりの後は
栄養が取られない
ように草抜きもしどうね。



カビだ！
カビがある。



日々欠かさず世話をすることで苗は日に日に葉をつけ、ぐんぐんつるが伸びていき、その生長に子ども達は大喜びです。「葉っぱが増えたね」「つるも長くなったよ」と毎日、観察もしていました。そんなある日のこと、「葉っぱの色が変わってる」「なんで?」と大騒ぎ。「大丈夫かな」と心配です。園に戻ると野菜作りに詳しい保育教諭に相談しました。すると、「べと病、黒星病などの病気でそれはカビだよ」と教えてもらい、「カビ」と聞いてびっくり！さっそく病気の葉を取り、薬を散布しました。けれども、大事なことは原因を探ることです。それが次の野菜づくりに繋がります。そこでみんなで考えました。

①水やりの水が土に当たりそれが葉についたままになっていた。

②水をやりすぎてしまい、いつもジメジメしていた。

ということに気付きました。そこで、水やりの仕方を調べ、これまで以上に丁寧に世話をしました。

夏が終わり、いよいよ収穫が近づいてきた頃、運動会の競技についてどんなことがしたいのかの話し合いが始まった頃、もちろん、子ども達の頭の中にあるのは「さつまいも」のこと。さつまいもの綱引き、芋取り合戦に決定です。



しっかり
後ろに下がって！



さつまいもの綱引きは、新聞紙を芋の形に丸め、紫色を塗り、つるはすずらんテープを三つ編みにして作り、それを中央の印にしました。ルールは単純、さつまいもを自分の陣地まで引っ張った方が勝ちです。運動会は班別4チームで戦っていたので、2試合連続勝たなければなりません。毎日、綱引きが終わるとどうやったら勝てるのか作戦会議です。「友達との間をあけて、足を広げて踏ん張る」「体を後ろにそらせて足に力を入れる」など各班でアイディアを出し、実践し、負ければ作戦会議のやり直しです。毎日が真剣勝負でした。



一方、「芋取り合戦」はしっぽに芋をつけたもので、班別で争い、芋をたくさん取った班の勝ちです。初めは、園にあった廃材の中から長細い紙を選び芋の絵を描いて貼ったものをつけて戦っていましたが、それは簡単に取れたり破れたりするので取られやすいことに気付きました。そこで「取られにくくて丈夫な芋を作りたい」という声があがり、それぞれ工夫して作ってみることになりました。まずは班の中でも制作が得意な子どもが、お家の人と作って持って来たり、素材を持って来て園で作ったりしました。「いいのができた。」「こうすると取られにくくない？」「どうやったらくっつかな。」と考えながら仕上げていました。その芋のついたしっぽを実際に競技で使い、その結果と効果を班のみんなに伝えることで、他の子もどういうものを作るのかイメージすることができ、家庭や園で作り始めました。そして、運動会が近く頃には世界に1つしかないしっぽと芋が出来上がったのです。運動会前日まで、しっぽや芋を改良し続ける子もいて、「勝ちたい」という強い思いが伝わってきました。

いよいよ運動会当日です。さつまいもの綱引きはお家の人も一緒に。作戦会議の内容も伝えお家の人も子ども達も勝つために必死です。その分、勝敗にはとてもこだわり、勝った班は親子ともども喜びいっぱいの笑顔で万歳をし、負けた班はとても残念そうでした。芋取り合戦は、子ども達だけの勝負ですが、しっぽと芋には家族の応援する思いも込められているのでどんな競技よりも拍手と声が響きました。勝っても負けても子ども達からは「楽しかった」

「〇個取れた」という声、一方お家の人からは「見ていて楽しかった」「話に聞いていたいろんなしつぽを見ることができた」という声。楽しい一時が過ごせたようです。

さて、次は待ち遠しい芋掘りです。4種類の芋の食べ比べ、楽しみですね。
どんなふうにクッキングするのでしょうか。



『野菜を育てよう！』

毎年近所の方に畑を借りていただいています。散歩の帰りに耕運が終わった畑の様子に気付いた子ども達から「まだ何も植わってない！」の声。保育教諭が「何か育てたい？」と尋ねると、迷うことなく「育てたい！！」と一言。早速、何の野菜を育てるのか話し合いました。「きゅうり、にんじん、トマト、大根、ピーマン、玉ねぎ、じゃがいも…」と自分達が知っている野菜を思いつくかぎり言い並べました。けれども、図鑑や野菜の本を通して今から植えるのは夏野菜であることが分かり、身近な「きゅうり」に決定。早速、保育教諭が苗を購入してきました。イボのあるきゅうりとないきゅうりの2種類です。それにオクラの苗も買いました。けれども、種類が違うことやオクラの苗も植えることは子ども達には内緒にしました。

早速、苗を植えに行きました。
それぞれ、一つずつジョウロを持って、畑に向かいいます。
水をしっかりとあげます。



大きくなーれ！

葉っぱの形が違う？
こっちは何の野菜？
秘密の野菜！！



さて、子ども達は、植えた苗は全部きゅうりだと思っていました。でも話をしているうちに葉の形が違うことに気付いたのです。近くに寄って観たり、手で触ったりしました。やはりこんな葉の形は見たことがありません。「こっちがきゅうり、こっちはきゅうりじゃないかも！」「じゃあ、秘密の野菜だな」と言って「秘密の野菜」と名付け、実ができるまで楽しみに待つことにしました。



大きくなってきた！
ちょっと倒れそう？
なんか棒がいる！！

水やりに行くたびにどんどん大きくなるきゅうり。とうとう倒れそうになりました。「先生！なんか棒ない？」と言う子ども…そこで園にあった支柱を用意しました。その頃になると秘密の野菜の方も実がなってきていて、「あっ、これオクラちゃう？」と気付きました。

大きくなってきたね



どんどん育っていくきゅうり。

毎日畑に行く水やりも楽しくなってきます。「赤ちゃんきゅうりだ」「早く大きくなって」「水は土にあげるんやんな」「これ、とってもいい？」「もう少しちゃう？」と収穫する日を待ちにしていました。そんな中で、きゅうりを触りながら、「あれ？こっちのきゅうりはぶつぶつしてるのに、こっちはつるつるしてるよ！」と、違いに気付いたのです。よく見ると、葉っぱの形も少し違いました。ここで、2種類のきゅうりが植わっている事が分かったのです。

ぶつぶつしてる！
こっちはつるつる
してるで！



種見えた～！！

きゅうりどうぞ！

いよいよ収穫の日を迎えました。イボのあるきゅうりとないきゅうり。みんなで触ったり、匂ったり、大きさを比べたりしました。次に輪切りにもしてみました。そして、塩もみをして食べ比べもしてみました。けれど違いはまったくありません。たくさんあったので他のクラスにもおすそ分け…♪



雨降ってきたけど
きゅうりたち
大丈夫かな！？



オクラに変身！



雨の日はカッパを着て散歩に出かけます。晴れた日とは又違う風景や小動物を見つけることができます。選んだ行き先は畠。大切に育てている野菜が心配だったからです。

一方で、遊びの中でもきゅうりやオクラが登場するようになりました。「オクラになりたい」と言って、新聞紙でオクラの帽子を作ってかぶったりきゅうりの形を作って食べるまねをしたりしていました。

さて、いよいよオクラの収穫となりました。以前から「オクラそうめんを作ろう！」と楽しみにしていたので、クラスのみんなの数が揃うまで保管していました。「5本取れた」「全部で何本？」「もう14本ある」収穫するたびに数を数えていました。ようやく、数がそろい調理する日が近づくと、「オクラだけではつまらない、もっと他にも何か入れよう」と言うことになり話し合いが始まりました。

きゅうりとゆで玉子を入れることが決まったところで、「おばちゃん家にプチトマトあった」「これも入れたらおいしそう」と言って、プチトマトを持ってきた子がいたのです。自分達で飾り付けをし赤、緑、黄色と色鮮やかなオクラそうめんが出来上がり、おいしくいただきました。

これで活動は終わるのかなと思っていたら、自分たちで育てた野菜の味は格別だったようで早速、次の相談が始まりました。そこで、みんなの目にとまつたのは「なつやさいのなつやすみ」の絵本。その中の「夏野菜カレー」を作ることになりました。中に入れる野菜は絵本のカレーがとても美味しいので同じ物を入れることにみんなの思いが一致しました。「家の畠にトマトあるから持ってくる」「ピーマンあるから持って行く」「家にじゃがいもあるから持っていく」「〇〇先生はなすびがあるよ」「〇〇先生がゴーヤ持ってきてくれるんだって」と話も盛り上がってきたところ…「かぼちゃは？」「誰かない？」「あっ！みかん組さんが育てる」と気付きました。「半分だけもらおうか」「だって…きゅうりをたくさんごちそうしてあげたもん」「ちょっと聞いてみるわ」とみかん組の子どもたちに尋ねる子も出てきました。みかん組の子ども達は、顔を見合わせて…「いいよ」「きゅうりもらったもん」「今度はあげるわな」と言ってくれたのです。これで材料は揃いました。

待ちに待った調理の日！たくさんの食材を前にわくわく！ときどき！皮をむいたり、種を取ったり、一口サイズに切ったり…煮込む前に野菜を炒めて「おいしくなってね」と思いを込めて…ゴーヤを炒めた時に「ゴーヤって苦いけどおいしいよ」と話していると「苦いん？」「ちょっと食べてみたい」と言って炒めただけのゴーヤを味見する子もいました。「うわっ！苦い！！」「びっくりした！」と口を押さえてびっくり顔！ご飯も炊けて、カレーも煮立ち、おいしそうな匂いがしてきました。自分達で野菜を飾りつけると、夏野菜たっぷりのカレーが出来上がり。「おいしい！」「夏野菜大好き！」とスプーンを持った手がどんどん進みます。食べた後は「おいしかったな」とにっこり笑顔・・・

さて、たくさん収穫した後の畠はというと、苗も葉っぱも茶色く枯れていきました。「先生、もう元気ない」「いっぱい収穫したもんね」とちょっぴり寂しそうにしながらも「ありがとう」と言ってみんなで片付けました。すると…「先生！次は？」「次！何を育てる？？」と目をキラキラさせていました。

「おばちゃんの畠があるから聞くとく」「もう秋？なら次は冬野菜？」と話しているところです。野菜の本や絵本を見て、「うーん…大根とか？」「かぶがいいな」「白菜は？」と考えている子ども達です。もう、頭の中はおでんや白菜カレーなどでいっぱい。さて、これからどうなるのか。楽しみですね。

うわっ！苦い！！



あり
が
と
う

★ ぶどう組 (1号・2号認定児)



| | |
|-------|--|
| 7:00 | 開園 |
| 7:30 | 早朝保育① 2号認定児(保育標準時間) 順次登園 |
| 8:10 | 園庭で遊ぶ |
| 8:30 | 早朝保育② 1号認定児(教育標準時間) 登園 2号認定児(保育短時間) 登園 園庭や縁側で遊ぶ |
| 9:30 | 園外に出かけたり園庭でコーナー遊びや制作遊びを楽しむ 春・夏は、3歳児ならではのいろいろな遊びの環境を整え、したい遊びを思いっきり楽しみます。秋・冬は、友達と遊ぶ楽しさや満足感、達成感を味わえるよう振り返りの会で遊びを広げたり展開したりしていきます。 |
| 11:20 | 着替え始める |
| 11:40 | 着替えた子から食事をする 食事を終えた子から室内で過ごす |
| 12:15 | 1号認定児(教育標準時間) 降園準備 |
| 12:30 | 1号認定児・2号認定児 歌を歌う 絵本を見る 振り返りの会 |
| | 夏期 就寝 1号認定児は 13:30~14:00 2号認定児は 13:30~14:30 |
| | 1号認定児・2号認定児 園庭や縁側で遊ぶ |
| 14:00 | 1号認定児(教育標準時間) 降園 2号認定児は引き続き園庭や縁側で遊ぶ |
| 15:15 | 着替え始める 着替えた子から降園準備をする |
| 15:45 | おやつを食べる 縁側・園庭で食べたり 畑・裏山・文常寺等出かけて |
| 16:00 | 園庭や縁側で遊ぶ 食べたりする |
| 16:30 | 2号認定児(保育短時間) 降園 (保育標準時間) 順次降園 延長保育② 園庭で遊ぶ 秋・冬 17:00まで 春・夏 18:00まで |
| 18:30 | 延長保育① 部屋で遊ぶ |
| 19:00 | 閉園 |



「これ何？」
「なぜ？」
「どうして？」
と好奇心旺盛な3歳児。
一緒に考えたり調べたりしながら、
考える力を育みます。

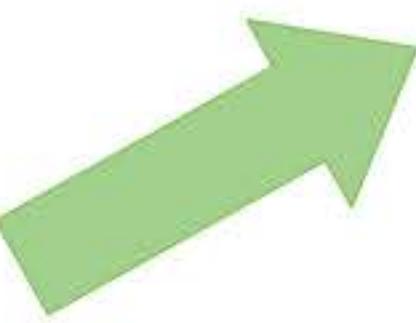
自分でできることが増え、会話も弾むようになり、行動範囲が広がり、気の合う友達と思いつきり遊ぶようになると同時に自分の気持ちを奮い立たせる自励力や我慢する自制心が育つ時期です。全身を使った遊びや集団遊びなどを取り入れながら、「ちょっと難しいけれどやってみよう！」と挑戦する楽しさや達成感が味わえる遊びを展開しています。また、思いやりの気持ちがもてるよう年下の子との触れ合いも大切にしています。そして、4歳へ向かう発達を意識して、製作や絵画活動、歌など、一斉活動も取り入れ、それに伴い、一日の振り返りの会では感じたこと、思ったこと等を話す場もあります。それでも、まだ、幼い部分があり、自分でやろうとしても思うようにいかないとごねたり、時には自分でできることも甘えてぐずり、大人に依存したりすることも多々あります。そんな時は、思いを汲み取り共感したり、見守り、待ち、その場面に応じた対応をしています。基本的生活習慣も一通り身に付いていきますが、排泄の失敗はありますので就学前までかけてゆっくりと自立を目指して進めていきます。



◎早朝保育①・延長保育①・・・保育標準時間児(保育時間 11時間)

早朝保育②・延長保育②・・・保育短時間児(保育時間 8時間)

『おーい！かえるさーん！出ておいで～』



さて、4月のある日のこと、池を覗き見つけたのはモリアオガエルの卵でした。園では既に4歳の子ども達が飼育を始めていたのでよく見せてもらっていました。ですから自分達も飼育しようということになり、早速園に持ち帰り、大切に飼育しました。しばらくしてたくさんのおたまじゃくしが生まれたので、文常寺の池に放したのでした。

文常寺は園の裏にあり、普段から遊び場の一つとなっています。そこには大きな池があり覗くとトンボのヤゴにアメンボ、カエルがいます。その中でもカエルが大好き。2歳児の頃から池を覗いてはカエルを探しています。

そんなある日…



ねとるんかな
はずかしいんかも

カエルどこかな
いないな

カエルさんって
よんでみよ



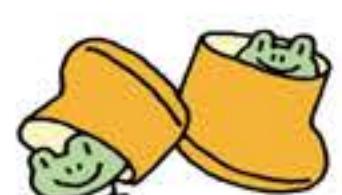
数日後、カエルになったおたまじゃくしに出会えることを楽しみにして、文常寺の池を覗きましたが、どこにもカエルが見当たりません。

そこで、みんなで呼んで見ることにしました。



せーの
カエルさーん

呼んでいたその時…



すると返事をするかのように池からカエルの鳴き声が聞こえてきたのです。



カエルみつけた

その声に大喜びをした子ども達。池のまわりはさらに、にぎやかになり、その声につられたのかカエルが出てきました。

誰からともなく「カエルの合唱」の歌を歌い出しました。声も段々と大きくなり文常寺に響きわたりました。

みんなでかわいがっていたおたまじゃくし。
カエルになって会いにきてくれたんだ！！



『コウノトリの郷公園に行ったよ』

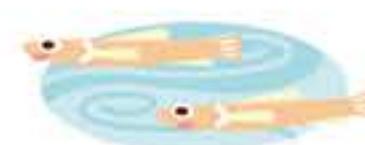


《ゲージの中のコウノトリ》

「おおきなくちばしだ」「目のところが赤い」「なんかあんまり動けへんな」「何食べるんだろう?」と話しているところに飼育員さんがやってきました。「バケツを持つと」「なんか移した?」—「なんだろう?」すると、コウノトリが一斉に動き出し、何かをついぱみだしました。「あっ、魚だ」「魚を食べている!」「生きとる。」子ども達は、一瞬息をのみましたが様子を見守っています。どこからかコウノトリが舞い降りてきます。サギもやってきます。「カタカタ」と鳴き出すコウノトリは顔を上げています。一気に、ゲージの中は賑やかになりました。子ども達は『いただきます』の意味についても学ぶ機会となりました。

なに
たべるんかな?

さかなをたべてる!



《自然観察路》



思いっきり走ったり芝生で秋見つけをしたり。虫や栗も見つけます。色づいた葉っぱも落ちています。イガイガの中に入ったままの栗もあります。見たり触ったり…。拾った葉っぱや栗の大きさ比べや色比べ…遊びはどんどん広がります。それから「コウノトリの落とし物」と命名したのは、落ちていた白い羽根。小川のそばを通ると、キラキラと水面が光っています。「まぶしい!」と思わず手で目を覆う子。そっと手を外し不思議そうに見つめます。「わあ、きれいだね。水が動いているよ。」と声をかけると「波だ」「ゆらゆらしている」…。「今日はいい天気だからお日様もニッコリだね。」と言うと、「そうか、お日様だ」と水面に反射していることを知りました。「僕の靴もピカピカ」と新しい靴を指し、おどけてみせたのはMくんでした。

よーいドン



コウノトリの
落とし物かな?



自然の中でおもいっきり遊び心も身体もたくましくなーれ♥

★ いちご組



3号認定児

| | |
|-------|---|
| 7:00 | 開園 |
| 7:30 | ↓早朝保育① 保育標準時間児 順次登園 |
| 8:10 | 早朝保育② 園庭で遊ぶ |
| 8:30 | 保育短時間児 登園 園外に出かける 裏の坂道・文常寺・田んぼ テラスでプール遊びをする（夏） 園庭で雪遊びをする（冬） |
| 11:00 | 着替えを始める |
| 11:20 | 着替えた子から食事をする 食事を終えた子からパジャマに着替える |
| 12:20 | 紙芝居や絵本を見る |
| 12:30 | 昼寝 |
| 14:00 | 起きた子から着替える 着替えた子からおやつを食べる 食べた子から好きな遊びをする (晴れた日はテラスで遊ぶ) 3月中旬より。食べた子から園庭で好きな遊びをする |
| 16:30 | 保育短時間児 降園 保育標準時間児 順次降園 |
| | 延長保育② 部屋で遊ぶ |
| 18:30 | 延長保育① 閉園 |



脳の発達に欠かせない事、それは五感を育むことです。自然の中で遊ぶことは五感を豊かにしてくれます。裏山、坂道、田んぼとどんどん出かけましょう。

ごっこ遊びが大好き。外でも部屋でもごっこ遊びが盛んです。もちろん散歩に出かけた先でも自然物を使ってごっこ遊びを始めることもあります。友達と一緒に場所で遊びながらも、これまでの自分の経験や体験をもとに、ひとりおしゃべりをしながらお母さんやお店屋さんになって遊んでいます。さて持ち帰った自然物や廃材も利用しながらより再現遊びや世話遊びが楽しく面白くなるように工夫して遊びを展開しています。また、音楽性が発達し歌をよく口ずさむようになってきますので、昔ながらの歌を季節に合わせて歌っています。一方「第一反抗期」と言われるように「イヤイヤ」「もっと」が始まり「自分で!」「自分が!」「自分も!」という気持ちが表れてきます。保育教諭は、3歳に向けて自分を伸び伸びと表現することができるよう、その子どもの意思表示を受け入れ認めることを第一にしその場に応じて気持ちが落ち着くよう待ったり、納得するまで側で見守ったりしながらゆっくりと時間をかけて関わっています。「叱らない」ことが豊かな体験を実りあるものにしていく糧となることを保護者の方にもご理解やご協力をいただき、家庭と園とが連絡をとりながら一日、一日が子ども達にとって本当に楽しい一日となるような保育をしています。



大好きな場所～裏の坂道～

おはようございます！
遊びさせてください



あ！こっちだ！！

どうぞ！

園舎裏の坂道は子ども達にとって絶好の遊び場です。友達と手をつないで園舎に沿って裏に行くと坂道です。出かける前から「虫探そう！」「よーいどんしょ。」心躍らせています。坂道の入り口ではたくさんのお地蔵様が出迎えてくれます。子ども達はここへ来ると必ず小さな手を合わせて挨拶をしています。

ある日のこと、いつものように挨拶をするとなんと返事が返ってきたのです。あるはずもないことが起こりみんなビックリ！すぐに「どこ？」と声がしたあたりを探すと…そこには小窓から顔を出した園長先生がいました。「えー！なんだ！園長先生や。」とみんな大笑い。それからというもの、子ども達が挨拶すると、どこからともなく「どうぞ」という声が聞こえてくるようになりました。そのお地蔵様の陰の声をいつも聞いてから子ども達は坂道を駆け上ります。

〈春の畑〉

坂道を駆け上ったところに小さな畠があります。
早速花を見つけました。

きれいな花見つけたね！
お母さんがきっとありがとう
っていってくれるよ



みて！お花見つけた～
これお母さんに
あげるわ～

うん



大事にポケットにしまい、遊んでいる間に途中でも何度もポケットの中をのぞいていました。さて、そんなふうにしながら園まで持ち帰ったお花ですが、ポケットから出してみると残念ながら萎れていきました。「お花が枯れちゃった。」とつぶやきながら目からはが…。「のどがカラカラになっちゃったんだね。お水をたくさん飲ませてあげようね。」と声をかけ保育教諭と一緒に、バケツに水はり花を浮べました。花は少し元気になりました。大好きなお母さんへのプレゼント。お母さんはとても喜んでくれました。

お母さんへの思い、届いて良かったね。

〈石の下には…〉

坂道には、子供たちの心をくすぐるものがたくさんあります。
そっと石の下をのぞくと…

そこには小さなダンゴムシが
いっぱい！
小さな指先でつまもうとしま
すが…
すぐに逃げられてしまいます。

ダンゴムシおったよ

だんごむしいるかな～

までまで！





小さな手のひらから何度も団子になって逃げ出してしまうダンゴムシ…子ども達とダンゴムシとの追いかけっこはこの後もしばらく続きました。それでも最後には「今度は落ちないでね！」とそっとポケットにしまい込んでいました。「ママ、かわいいねっていうね大好きなものは全部お母さんへのプレゼントです。でも小さくても大切な命。帰る頃には、「ポケットの中では苦しいって言っているよ」の言葉がけに、そっと逃がしていましたよ。

〈台風が過ぎ去った日〉

坂道を駆け上ったところにたくさんドングリの木があります。風に吹かれてたくさん落ちているのを見つけました。→ 目をキラキラさせながら拾っていると風が吹いてきました！すると…コロン…コロン…と何かが落ちてきました。



裏の坂道に出かけるたびに、子ども達のポケットは宝物でいっぱいになります。草花 どんぐり 葉っぱ 木の実 石 ダンゴムシ… 保育教諭が泥んこになったズボンの土を落としていると… 出てくる、出てくる魔法のポケットのようにいろんなものが…

風さんからの思わぬ贈り物に大喜びでした。たくさん拾ったどんぐりは、ポケットに入れて「お母さんへのプレゼント」、落ちないように大事そうに押さえていましたよ。帰る時にはたくさん拾わせていただいた宝物のお礼も含めてお地蔵様に手を合わせて挨拶をします。

そこで、「お散歩バック」を作りました。このバックをもって大好きなお母さんへのプレゼントを探しに行きます。

さて、今日は何が見つかるかな…

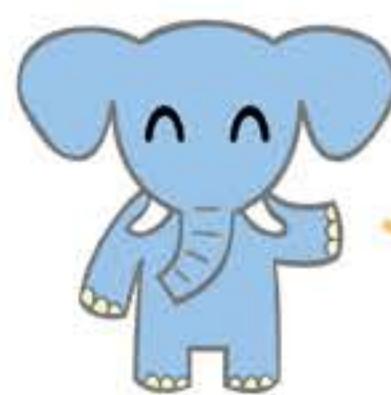


★さくらんぼ組



3号認定児

| | | |
|-------|------------------------------------|---|
| 7:00 | 早朝保育① 保育標準時間児 順次登園 | 開園 |
| 7:30 | 早朝保育② 保育短時間児 登園 | |
| 8:30 | | |
| 9:00 | | 園庭で遊ぶ |
| 9:45 | | 園外に出かける 裏の坂道・文常寺 |
| 10:45 | | 着替えを始める |
| 11:00 | | 着替えた子から食事をする |
| 11:30 | | 食事を終えた子からパジャマに着替える パジャマに着替えた子から遊ぶ |
| 11:45 | | 眠たくなった子が寝始める |
| 12:00 | | 遊んでいた子は玩具を片付け 絵本を見る |
| 12:10 | | 昼寝 |
| 14:00 | | 起きた子から着替える お気に入りの玩具で遊ぶ |
| 14:30 | | 起きた子からおやつを食べる 10月以降 部屋で食べたり テラスで食べたりする |
| 15:00 | | 室内で遊ぶ 歌を歌ったり、 絵本を見たりする 気に入っている玩具で遊ぶ |
| 16:00 | | |
| 16:30 | 保育短時間児 降園 保育標準時間児 順次降園 延長保育② | |
| | 部屋で遊ぶ | |
| 18:30 | 延長保育① | |
| 19:00 | | 閉園 |



子ども達が愛情を十分に感じ
心が安定することが、脳の発達に
影響します。たくさん触れあって
信頼関係を築いていきたいです。

午前の睡眠がなくなりますので、午前は、じっくりと好きな遊びを楽しむための大変な時間です。まだヨチヨチ歩きだからといって部屋の中にいたり、外に出てもベビーカーを使用したりせず、園庭に出てお日様の下で遊びます。また、0.1歳児専用の小庭があり、小鳥の囀りを聞いたり、飛び交うトンボを見たり、虫を探したり、木々の芽吹く様子から秋の紅葉まで四季折々の変化に触ることができます。保育教諭は、子どもが身振りや手振りで伝えようとする気付きや驚きを見逃さずに受け止め、好奇心や興味を満たせるよう、その思いを言葉にかえて共感するように関わっています。さらに足腰を鍛える時期ですので、マットや手作りの平均台など道具で全身を動かして遊ぶようにしています。さて、1歳7ヶ月を過ぎた頃には「だだこね」が始まります。それは、自我が芽生えてきた証拠です。できなくても、させてみたり、どうしたいのか具体的に尋ねてみたりしながら自分で決めていくように働きかけ、子どもが決めた行動に共感して自我の育ちを支えています。大人の忙しさから子どもに無理を押しつけることがないよう、提案しながら、お子様のより良い育ちを目指した保育に務めています。



水道の蛇口をキュッとひねって水を出せるようになりました。手首の動きがスムーズになっていろんなものを回したくなってきました。そこで…



保育教諭が牛乳パックで手作りの駒を作りました

保育教諭が手作りの駒を回すと、興味を持った子が真似て回し始めました。駒についているつまみを持ち、指先や手首を器用に回します。



そこへ、“何してるの？” “私もしたい！”と言わんばかりに、その子の周りに他の子もやってきました。

すぐに、たくさんの手作り駒を作り子ども達の手の届くところに置くと、それぞれの子が手に取り、何度も何度も回し始めました。駒がくるくると回るたびに手を叩いたり、「～た！(できた！)」と言って嬉しそうにしていましたよ。



回すことが好きになった子ども達…

そんな子ども達の様子を見て、いろいろな模様の“くるくるボード”を作り、部屋の柵に取り付けました。それ好みを選びで遊んでいます。



ある日、一人の子がくるくるボードの裏側におもちゃを入れ、回すと落ちてくる様子を楽しんでいました。そこで、牛乳パックの底の部分を切ったものをくるくるボードに取り付け、そこにボールを入れて回すと落ちるというものに作り変えました。その仕組みにクラスみんなが興味を持ち、何度も繰り返し遊ぶようになりました。

ふれあい運動会へと繋がっていきました！

子ども達が普段の遊びの中で楽しんでいる“くるくる回すこと”をふれあい運動会の親子競技に取り入れました。

それは、部屋にあるくるくるボードとは違い、子ども達の体よりも大きくなるくるボード！カップにボールを入れ、目一杯腕を動かして回す子や、手で少しずつ動かして回す子など回し方はさまざまです。

子どもの学びに向かう力とは、1. 2歳児の頃はやりたいと思うことを存分にさせてあげることです。そうすると次にやりたいものが湧いてくる。その繰り返しの中で、考える力が育まれます。



★さくらんぼ組



3号認定児

| | | |
|-------|---------------------------|-------------------------|
| 7:00 | ↓ 早朝保育① | 開園 |
| 7:30 | ↓ 早朝保育② | 保育標準時間児順次登園 保育短時間児登園 |
| 8:30 | 部屋で遊ぶ | |
| 9:00 | ↑ | おむつを替える |
| | テラス・園庭で遊ぶ | |
| 10:45 | ↓ | おむつを替える・着替える |
| 11:10 | 食事をする | |
| 11:45 | ↓ | 部屋で遊ぶ・眠たい子から寝る 昼寝をする |
| | ↓ | |
| 14:00 | 起きた子から部屋で遊ぶ おむつを替える | |
| 15:00 | おやつを食べる | |
| | ↓ | |
| | おやつを食べた子から テラスや部屋で遊ぶ | |
| 16:00 | ↓ | |
| 16:30 | 保育短時間児 降園 保育標準時間児 順次降園 | |
| | 延長保育② | |
| | 部屋で遊ぶ | |
| 18:30 | ↓ ↓ 延長保育① | |
| 19:00 | 閉園 | |



生後3ヶ月～のお子様をおあずかりしています。

保護者の方の育児の悩みと一緒に考えたり解決したりしながら、子どもの成長の喜びを共有しあい、信頼をもって安心して託していただけるよう努めています。

また、0歳児は、お家の方や保育教諭から受ける愛情を心の支えとして、心も体もどんどん成長し発達していく時期ですので、月齢や発達に応じた環境づくりを行うと共に、一人一人との触れ合いや声掛けを大切にして、より良い成長を目指し丁寧な関わりを心がけています。

保育教諭間のチームワーク

も良く、保育の中で起こる

様々なエピソードを

語り合いながら、

いつも笑顔で楽しく

保育をしています。



◎0歳児は、月齢や発達に配慮し一人ひとりに応じた一日の生活の流れとなるように配慮しています。

◎早朝保育①・延長保育①・・・保育標準時間児（保育時間 11時間）

早朝保育②・延長保育②・・・保育短時間児（保育時間 8時間）



0歳児の頃は、一人一人の発達や興味をもっているものに答え、環境を作っていくのが学びへ向かう力となります。気に入った玩具で、心ゆくまで遊ばせましょう。



ぽっとん落とし遊びです。
ボールなどのおもちゃを
上から入れると、下から
“ぽとん！”と落ちてきます。



ペットボトルスライダーです。
ビーズが入っているガチャコロを
転がすと、ころころ～と転がって
いきます。



引っ張って遊ぶおもちゃです。
手で引っ張ると紐がびよーんと伸び
ます。嬉しそうです。



手作りの大きなトンネルはみんな
大好きです。ハイハイをして通り
抜けたり、小窓から顔を出したり
しています。また、つかまり立ちや
伝い歩きもしている子もいます。



部屋では一人一人がお気に入りの
おもちゃで遊んでいます。
真剣な表情で遊んでいる姿は
とてもかわいらしいですよ。

晴れた日には広いテラスで遊びます。
暖かい太陽の下でハイハイをしたり、
車を押しながら歩いたり、ボールで
遊んだりして、楽しんでいます。



自然の中で思いっきりあそぼう

子どもたちは子ども同士の触れ合いやつながり
様々な大人との関わりや交流
そして自然に豊かに関わることで めざましく成長していきます。
『遊び=学び』の毎日です。
遊びからたくさんのこと経験することが
学びに繋がっていくのです。
また、五感が働き 感情が育まれます。
見るもの・聞くもの・触れるもの…全てが新鮮な毎日です。
子どもは主人公になって遊びます。
大人は環境を整え、子どもの心を丸ごと理解し育ちを支えます。



園長 岡藤光代

- 一時保育
- 子育て支援
- パンフレットを用意しています。
気軽にお越し下さい。



社会福祉法人みえ福祉会 おもしろたのし みえこども園
幼保連携型認定こども園 理事長／田口廸生 園長／岡藤光代
〒668-0811 兵庫県豊岡市鎌田116番地
TEL 0796-24-0462 Fax 0796-22-2468